

感染症罹患後の登園届

登園届

大麻藤認定こども園園長宛て

園児名

年 月 日 医療機関「 」
において病名「 」と診断されました。
年 月 日 に症状が回復し、集団生活に支障がない状態に
なったので登園いたします。

保護者名

感染症罹患後の登園の際には、上記の登園届の提出をお願いいたします。

こども園は、乳幼児が長時間生活を共にする場所です。感染症の集団内での発生や流行を防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できるようにすることが大切です。

子どもがよくかかる感染症については、別紙「登園の目安」を参考に、かかりつけの医師の診断に従い、一定期間登園を控えていただき、こども園での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するようにしてください。

感染症名	潜伏期	感染しやすい時期	登園のめやす
麻疹（はしか）	9~12 日	発症 1 日前から発しん出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
インフルエンザ	1~3 日	症状が有る期間（発症後 24 時間から 3 日程度までが最も感染力が強い）	発症後最低 5 日間かつ解熱した後 3 日を経過してから
新型コロナウイルス 感染症	約 5 日間 （オミクロン株の場合は 2~3 日）	発症後 5 日間	発症した後 5 日を経過し、かつ症状が軽快した後 1 日を経過してから *無症状の感染者の場合は、検体採取日を 0 日目として、5 日を経過すること
風疹 （三日はしか）	2~3 週	発疹出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発疹が消失してから
水痘（水ぼうそう）	2~3 週	発疹出現 1~2 日前からかさぶた形成まで	発疹がかさぶたになった後 （但し、手のひら、足のうらは除く）
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	2~3 週	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ全身状態が良好であること
結核			感染のおそれがなくなってから
咽頭結膜炎（プール熱） （アデノウイルス）	5~7 日	発熱、充血等症状が出現した数日間	主要症状が消失した後、2 日を経過してから
流行性角結膜炎 （アデノウイルス）	4~7 日	充血、目やに等症状が出現した数日間	結膜炎症状が消失してから
百日咳	1~2 週	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失してから、または 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了してから
腸管出血性大腸菌 感染症（O157、O26、O111 等）	3~8 日		伝染のおそれがないと認められた後
溶連菌感染症	2~7 日	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1 日間	抗生剤投与開始後 1~2 日経過し、主要症状が消失してから
マイコプラズマ肺炎	1~3 週	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳などの主要症状が治まっていること
ウイルス性胃腸炎 （ノロ、ロタ、アデノウイルス等）	1~3 日	症状のある間と、症状消失後 1 週間（量は減少していくが数週間ウイルスが排泄しているので注意が必要）	下痢が治まり、全身状態が良ければ登園可
ヘルパンギーナ 手足口病	2~6 日	急性期の数日間（便の中に 1 か月程度ウイルスを排泄していくので注意が必要）	解熱し、口腔内の水泡、潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RS ウイルス感染症	4~6 日	呼吸器症状のある間	咳などの呼吸器症状が改善し、全身状態が良いこと
带状疱疹		水泡を形成している間	全ての発疹がかさぶたになってから
突発性発疹			解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと （発疹があっても良い）

* 伝染性紅斑（りんご病）は、発疹があっても、全身状態が良ければ、登園可とします。